

- 1 単元名 つながりを意識して文章の構成を考えよう
—「行事しようかいリーフレット」を作ろう— (光村図書4年下)
- 2 本単元で育成する資質・能力
 - (1) 段落や接続する語句の役割について理解し、文章の中で適切に使うことができる。
(知識及び技能)
 - (2) 書く内容の中心を明確にし、つながりを意識して文章の構成を考えて書くことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
 - (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。
(学びに向かう力、人間性等)
- 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・段落や接続する語句の役割について理解し、文章の中で適切に使っている。	・書くための材料を集め、中心に述べたいことを一つに絞ることができる。 ・内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意して文章の構成を考えて書いている。(B-I)	・見通しをもち、言葉や構成について繰り返し検討して、紹介する文章を書こうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、教科書教材「クラブ活動リーフレットを作ろう」を基に、3年生に対して4年生で行う学校行事のよさを紹介するための文章を書くという題材を設定している。この文章を書く活動を通して、文章の構成を考えたり、伝えたい事柄とそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表したりする力を身に付けることができる。本単元は、集めた材料を取捨選択し、内容のまとまりでつくった段落を基にして構成を考えることで、書く内容の中心を明確にし、つながりを意識して文章の構成を考えるのに適した単元であると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童に対して、書く内容の中心を明確にし、つながりを意識して文章の構成を考えて書く力に関する実態調査(令和元年9月13日実施、第4学年*組*人)を行った。調査では、他校の4年生に対して、自分の小学校のよいところを一つ取り上げ、400字以内で「冒頭部—展開部—終結部」の構成で紹介する文章を書くという条件を設定した。その結果、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて書くことができた児童は*人、書く内容の中心を明確にすることはできているが、文章の構成を考えられていない児童が*人、文章の構成は考えられているが、書く内容の中心を明確にすることができていない児童が*人、書く内容の中心を明確にできず、文章の構成を考えられていない児童が*人であった。このことから、本学級の児童は、文章を書き進めるうちに述べようとしている事柄が変わってしまったり、構成を考えずに文章を書いてしまったりすることが分かった。そのため、書く内容の中心を明確にし、つながりを意識して文章の構成を考えて書く力を育てる学習指導を行う必要があると考える。

(3) 指導観

本単元では、3年生に対して4年生で行う学校行事のよさを紹介するための文章を書くという言語活動を設定する。まず、4年生で行った学校行事について伝えたいことを付箋に書き、グループで付箋を操作して共通点を探す。そして、共通点を基に、個人で中心に述べたいことを一つに絞り、紹介文の終結部に位置付ける。次に、見出しとして伝えたい事柄を短くまとめた言葉を書き、その言葉に沿って段落カードに内容を文章化する。その際、段落カードをグループで読み合い、理由や体験が具体的に書かれているか助言し合う。最後に、個人で展開部の段落カードを並べ替え、それに合わせて冒頭部と終結部を文章化した後、グループで接続する語句を使いながら段落と段落との関係を検討し、清書する。このように、紹介するための文章を書く際に、思考の流れを可視化し、グループで交流しながら、材料を集めたり文章の構成を検討したりすることで、書く内容の中心を明確にし、つながりを意識して文章の構成を考えて書く力を身に付けることができると考える。

5 単元の指導計画（7時間扱い）

次時	学習内容・活動	指導上の留意点（◎評価）【評価方法】
1	1 ○学習の見通しをもち、学習計画を立てる。 ・リーフレットの形式や目的を確認し、ゴールを把握する。 ・紹介文に書く事柄を、モデルを通して確認し、どのような学習が必要か話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のリーフレットや教師の作った紹介文のモデルを示し、単元のゴールが明確になるように働きかける。 ・児童の言葉で学習計画を立て、主体的に学習に取り組めるようにする。 ◎紹介文を書く活動に関心をもち、進んで学習計画を立てようとしている。 (主)【発表や意見交換の観察】
2	2 課題 行事を通して伝えたいことは何か。また、それを伝えるためにどんな材料が必要だろうか。 ○紹介文の材料を集め、共通点に着目して分類する。 ・選んだ行事について伝えたいことを付箋に書き、それを操作しながらキーワードを探す。 3 ○共通点を基に、中心に述べたいことを一つに絞る。 ・中心に述べたいことを伝えるための材料を、あつまるシートで色分けしたり書き加えたりする。 ○文章の構成に応じて、大まかな内容を見出しとして段落カードに書き込む。 ・段落カードに見出しを書き込む。 まとめ 紹介文では、伝えたいことが一つ決まったら、それを支える理由や事例を書くといい。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ行事を選んだ児童でグループを編制し、必要に応じて情報の共有や相談ができる場を設定する。 ・付箋に材料を書き出すことで、操作や加除訂正をしやすくする。 ・グループで付箋の共通点を探すことで、行事を通して3年生に伝えたいことを考える手がかりを与える。 ・述べたいことの中心や、それを伝えるための事柄を、見出しとして段落カードに書くことで、段落に何を書くのか確認できるようにする。 ◎書こうとしている材料の中から、中心に述べたいことを一つに絞ることができる。 (思)【あつまるシートの記述分析】
4	4 課題 どうすれば読者が読みやすい紹介文が書けるだろうか。 ○段落カードを使って、展開部の内容を文章にする。 ・段落カードに、内容のまとまりごとに理由や事例を書く。 ・グループ内で学習の手引きを用いて助言を行い、個人で段落カードの推敲を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士で相談できるように、個人で進める活動もグループの形態で行うよう指示する。 ・一枚の段落カードに一つの事柄を書くことで、内容のまとまりで段落をつくることを実感できるようにする。
5 時	1 本時の学習課題をつかむ。 課題 読者が読みやすく、書き手の思いがよく伝わるのはどのような構成だろうか。 2 展開部の構成を考える。 ・伝えたい順番や接続する語句の使い方に着目して、展開部の段落カードを並べ替える。 3 冒頭部と終結部を文章化する。 ・展開部の内容につながるように、冒頭部と終結部を段落カードに文章として書く。 4 グループで文章を読み合い、改善点を指摘し合う。 5 助言を基にして文章の推敲を行う。 まとめ 内容や段落同士がどのようにつながるのかを意識して、構成を考えるとよい。 6 本時を振り返り、自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・展開部の段落カードを並べ替える際に、なぜその順番にしたのかワークシートに書き込むことで、文章の構成の意図を振り返ることができるようにする。 ・文章を書いたり助言をしたりする際、必要に応じて、学習の手引きに掲載されている、接続する語句の一覧や冒頭部、終結部の書き方を参考にしよう指示する。また、呼びかけや問いかけの文を使えるか検討できるようにする。 ・グループ内で学習の手引きに示した観点を基に読み合いを行うことで、読む方も書く方も気を付ける箇所を意識しやすくする。 ◎段落の順番について意見をもったり、接続する語句を使ったりして、つながりを意識して文章の構成を考えている。 (思)【つながるシートの記述分析】 ※努力を要する児童には、学習の手引きの該当ページを読むよう指示したり、個人

	<p>まとめ 内容のまとまりごとに段落をつくり、段落と段落がどのようにつながるのかを意識して、構成を考えるとよい。</p>	<p>活動であっても随時グループの友達に相談するよう指示したりすることで、自分の考えを文章化できるようにする。</p>
6	<p>○リーフレットを作る。 ・リーフレットの形式に合わせて紹介文を清書する。 ・紹介文に合った写真を貼り、表紙を書く。</p>	<p>・段落カードを貼ったつながるシートを基に、丁寧に清書を行うように指示する。 ◎段落や接続する語句の役割について理解し、文章の中で適切に使っている。 (知)【リーフレットの記述分析】 ◎内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意して文章の構成を考えている。 (思)【リーフレットの記述分析】</p>
3	7 <p>○リーフレットを読み合う。 ・グループで紹介文を読み合い、付箋を使ってコメントする。 ○単元の振り返りをする。 ・コメントを読み、単元で身に付いた力について振り返りをする。</p>	<p>・内容の中心が明確になっていることや文章の構成が考えられていることについても感想を伝えられるように声をかける。 ・3年生にも実際にリーフレットを読んでもらい、コメントをもらう機会を設ける。 ◎友達を紹介文を読み、進んで文章のよいところを見付けようとしている。 (主)【付箋の記述分析】</p>